

※クリックすると記事のページを開きます。

① ヤンゴン大学からの受入留学（2017-18年）：ヤンゴン日本語教室便り .....	2
② ヤンゴン大学からの受入留学（2018-19年）：ヤンゴン日本語教室便り .....	5
③ ヤンゴン大学からの受入留学（2018-19年）その2：ヤンゴン日本語教室便り .....	8
④京セラ 1Day インターンシップ実施報告 1（2020年1月） .....	11
-京セラでの 1Day インターンシップの感想と勉強になったこと .....	12
-京セラでの 1Day インターンシップの感想と勉強になったこと .....	13
⑤日本映像翻訳アカデミー（JVTA）ワークショップ実施報告（2020年7月） .....	16

## ① ヤンゴン大学からの受入留学（2017-18年）：ヤンゴン日本語教室便り

2017年11月3日

GJO 日本語講師

今井己知子

ヤンゴン大学から本学へ3人の学生が留学中です。そのうち一人はGJO ヤンゴンで日本語を勉強した国文科の学生です。今月の日本語教室便りは、留学中の国文科学生 Thae Su Hlaing へのインタビューの中から抜粋してお届けします。インタビューは、11月2日に Facebook の Messenger を使って音声で行いました。

### 1. 1週間の生活を教えてください。

――9回授業があります。日本語の授業が6回と英語が3回です。

### 2. 休日にしていること。

――ミャンマー人の先生（東京外国語大学客員教授）とミャンマー人の友達と遊びます。

――料理をします。

――図書館へ行って、本を読みます。

### 3. 日本に住んでどうですか。

――天気が良いと思います。好きです。全然ホームシックはないです。

### 4. 料理する時、野菜とかどこで買うんですか。

――武蔵境の業務スーパーへ行きます。業務スーパーは安いからです。

**5. 日本に来て驚いたことは何ですか。**

——日本人がマスクをしていること。ヤンゴンから日本へ来る飛行機の中で

4人か5人の人がマスクをしていました。

日本に着いたら20～30%の人がマスクをしています。なぜ日本人はマスクしていること、好きなのか、驚きました。

**6. 自分の日本語で弱いこと・難しいことは何ですか。**

——（ミャンマーで）話すこと/

（東京で）今は全部大丈夫。一番難しいことは書くこと、漢字もひらがなも。

日本語で日記を書いています。

**7. 日本で何をしたいですか。**

——旅行したいです。

（どこに行きたいですか）初めて大阪です。二番目は立山・黒部です。

日本はどこでも行きたいです。

（どうして立山・黒部？）冬に雪がたくさん降ってきれいだと思いますから。

——アルバイトしたいです。ミャンマーにはアルバイトがありませんから。

**8. ミャンマーへ帰るまでの日本語のゴールは何ですか。**

——JLPT（日本語能力試験）のN2にパスするぐらいになりたいです。

以上です。

このインタビューの録音を後で聞きかえして驚いたのは、私が手加減せずに natural speed で話していたにもかかわらず、彼女がちゃんと聞き取って正確に返答していたことです。彼女があまりにも自然に受け答え出来ていたので、自分が natural speed で話していることにインタビュー中、全く気がつきませんでした。9月26日に来日して以来1か月ほどで、こ

れだけ流暢に会話できるようになったのは瞠目（どうもく）です。

学習意欲が旺盛であること、若くて学習能力が高いこと、日本語のシャワーを浴びられる環境であること、そして日本でトップクラスの優れた日本語教育を毎日受けていること、この四つが合わさってこんな素晴らしい結果を生んだのだと思います。毎日ご指導くださっている本学日本語教育センターの先生方にこの場を借りてお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

それにしても業務スーパーで野菜を買うなんて、しっかり者の主婦みたいですね。全然ホームシックにかかっていないし、留学を心から楽しんでいるようで、安心しました。彼女が留学を終えて来年ヤンゴンに戻って来るのが楽しみです。

## ② ヤンゴン大学からの受入留学（2018-19年）：ヤンゴン日本語教室便り

2018年11月30日

GJO 日本語講師

今井己知子

ヤンゴン大学から本学へ今年も3人の学生が留学中です。今年は3人ともGJO ヤンゴンで日本語を勉強した学生たちです。そのうち2人の国文学科生 Su Wint Mon さんと Hnin Eaint Wai さんにインタビューしました。その中から抜粋したものをお届けします。インタビューは一人ずつ Facebook の Messenger を使って音声で行いました。

以下、S = Su Wint Mon さん H = Hnin Eaint Wai さん

### 1. 1週間の生活を教えてください。

S：月曜から金曜まで大学で勉強します。家で明日のため予習します。

H：月曜から金曜まで 8:30 から夕方だいたい 5:30 に終わります。日本語も英語も勉強します。水曜日は一つだけあります。

### 2. 休みの日は何をしていますか。

S：日本人とミャンマー人の友達と東京の周りに行きます。渋谷とか新宿とか、牛久の大仏も行きました。私は仏教徒ですから、大きい仏像が見たかったです。

H：時々宿題をしたり、部屋を掃除したり、友だちと出かけたり、東京の有名な所へ遊びに行きます。

### 3. 日本に来る前と来てからでは日本に対する印象は変わりましたか。

S：日本に来る前は日本人は他の人のことを気がつかないと思っていました。でも、来てからは、日本人は他の人のことに気をつくと思いました。

(注) Su Wint Mon さんは友達にケーキを買いたいと思い、どこがいいか日本人に聞いただけなのに、その日本人は自

分でケーキを買って、Su Wint Mon さんにくれたそうです。

H：前と変わりません。

#### 4. 自分の日本語で難しいこと、弱いと思う点は何ですか。

S：文章を読むことです。難しい漢字があるからです。漢字の読みが難しいです。音読みと訓読みがあります。

H：漢字です。意味は分かって音も分かりません。自分で書く時に書けません。

#### 5. この2か月間（日本に住み始めた2か月間）で一番印象に残っている経験は何ですか。

S：日本人はいつでもどこでも並んでいます。ラーメンを食べる時も並びます。

H：外語祭です。語劇で、日本人がミャンマー語で話しているのを聞いて可愛いと思いました。そして自分もミャンマー語劇に出たことです。

#### 6. ミャンマーへ帰るまでに日本で何をしたいですか。どこへ行きたいですか。

S：京都へ行きたいです。神社がたくさんあると聞いたからです。住み心地がいいと日本人から聞いたからです。日本人の友達は京都が好きで毎年行きます。

H：一人で旅行したいです。ミャンマーでは親がだめと言うから一人で旅行できません。でも日本は安全ですから、一人で旅行したいです。

沖縄へ行きたいです。海がきれいだし、食べる物もおいしいと聞いたからです。それに住宅と踊りは面白いからと思います。

#### 7. ミャンマーへ帰るまでの日本語のゴール、目標は何ですか。

S：JLPT（日本語能力試験）のN2を受けたいです。

H：JLPT（日本語能力試験）のN1に合格することです。

この二人はミャンマーで日本語を熱心に勉強してきたので、生活するのに不自由は感じていないようですが、それでもやはり漢字には悩まされているようですね。教える側の悩みでもあります。あまり漢字を詰め込むと拒否反応を起こして、日本

語を嫌いになられても困りますし、普段漢字を見ることのないミャンマーでたくさん習っても実生活で触れる機会がないので忘れてしまいますし。

人がある国を好きになるかどうかは、その国での経験、その国の人との交流に大きく影響されると思います。Su Wint Mon さんの、「日本人は気が付かないと思っていた」という日本人に対する印象は、彼女を取り巻く環境や、ミャンマー人と日本人の親切の概念、人に対する接し方の違いなど、様々な要因により形作られたのですが、興味深かったです。私も東南アジア 3 カ国に住んでみて、各地の人々の行動パターンや物事に対する反応の違いに驚いたり、喜んだり、感激したり、怒ったりして少しずつその国の人たちに対する理解・共感または納得、または諦め（私個人にとっての収拾のつかない精神的溝）を深めていきました。一個人の非常に狭い範囲での経験でしかありませんが、私なりの〇〇人像が良くも悪くも出来上がっていて、しかも新しい経験をするごとに更新中です。彼女も今まさに異文化体験の真ただ中にいます。「なんでも並ぶ」不思議な日本人の中で彼女なりの日本像がどう形作られていくのか、どう変わっていくのか、話を聞くのがとても楽しみです。

### ③ ヤンゴン大学からの受入留学（2018-19年）その2：ヤンゴン日本語教室便り

2019年4月30日

GJO 日本語講師

今井己知子

酷暑のヤンゴンから逃げ出して一時帰国しました。一時帰国報告会の後、ミャンマー語共同研究室で、留学中のヤンゴン大生三人と会う機会を作っていただき、半年ぶりの再会となりました。三人とも元気いっぱい、日本語もとても流暢になっていました。女子二人は元々よくできていたのですが、男子学生は留学直前の九月末に挨拶に来た時は、片言しか話せなかったのが、今は日常会話は問題なくこなせるようになっていました。私がする natural speed の質問も、聞きかえすことなく答えられました。何という進歩！三年ヤンゴンにいて日常会話にまだ四苦八苦している私とは大違い。

彼らの日本での生活を楽しく聞かせてもらいましたが、雑談ではまとめにくかったので最後にインタビューしてみました。女子二人には昨秋インタビューしましたが、今回は違う内容を聞いてみました。ご笑覧ください。

HとSはミャンマー語学科の女子学生、Aは人類学専攻の男子学生です。



**質問 1 : 今まで日本で一番楽しかったことは？**

H : ホストファミリーのクリスマスパーティーです。

S : 山形県の飯豊町へのスタディーツアーで、雪遊び、スノーボードをしたことと、

外国人 2 人日本人 2 人で農家の民宿に泊まったこと。

A : ホストファミリーとの交流でお正月に家と公園で凧揚げをしたのが楽しかった。

**質問 2 : 日本の食べ物で好きな物は？**

H : 苺と大阪のたこ焼き

S : 食べ放題じゃない高い焼肉。ラーメン・おもち

A : 全部好き。特に煎餅と苺。

**質問 3 : 嫌いな食べ物は？**

H : ワサビ

S : ワサビと納豆

A : ありません。

**質問 4 : 日本で嫌なことは？**

H : 果物が高い。

S : 電車でぶつかった時に謝っても怖い顔をしている。

A : ありません。

**質問 5 : 留学期間は残り 3 か月ですが、何をしたいですか。**

H : ちゃんと勉強したい。

S : 色々なことをやりたい。勉強と、東京周辺の関東で行ったことがない所へ行きたい。

A : 日本人の友達をもっと作りたい。

**質問 6**：これから 1 年留学をする人たちにアドバイスしてください。

H：ホストファミリーがいたらいいと思う。

S：来る前に出来るだけ日本語を勉強して来た方がいい。

(どうして?) ヤンゴン大学の学生は日本語専攻じゃないから、日本語の勉強の範囲が低いから。

A：たくさん遊んでください。どこでも知らない所に行ってください。

このインタビューによると、ホストファミリーの存在は留学生活にかなり大きなウェイトを占めるみたいですね。日本人の家庭生活に触れる機会が他にないからでしょうか。好きな食べ物で、男子は全部好き、刺身も納豆も好きと答えたのにはびっくりしました。同じく食べ物に関する質問で、嫌いな食べ物で女子二人がワサビと答えたのも少し意外な気がしました。唐辛子とは違う辛味はあまり受け入れられないのかな。そしてここでも際立っているのは男子学生が嫌いな物はないということです。彼はかなり日本の生活が合うんでしょうか。喜ばしいことです。日本が誇る生物兵器、納豆も好きだなんて、無敵ですね。

三人ともとても楽しそうで日本の生活を満喫している様子がうかがえました。こんなに若い時に留学出来て本当に羨ましいです。この 1 年は彼らの人生にとって一生の宝物になったと思います。

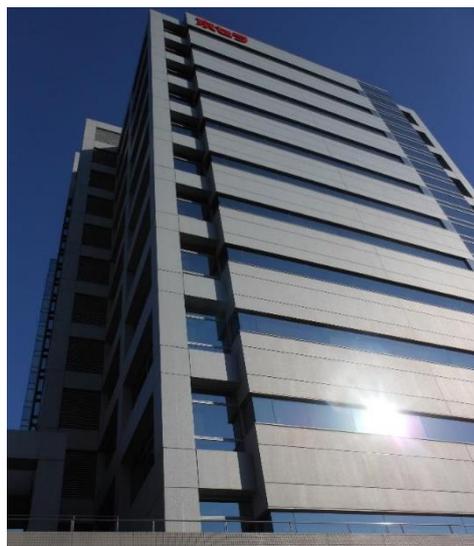
## ④京セラ 1Day インターンシップ実施報告 1（2020 年 1 月）

**日時：**1 月 30 日（木）

**実施時間：**9 時 30 分～16 時 30 分

**参加者：**ロシア語専攻学生 7 名、スペイン語専攻学生 4 名、  
ポルトガル語専攻学生 1 名、ミャンマーからの交換留学生 2 名

**内容：**会社紹介、アメーバ経営体感ワーク（ペーパータワー制作）、  
先輩社員による仕事紹介座談会



京セラ・東京事務所の外観

以下は、今回の 1Day インターンシップに参加したミャンマーの交換留学生のレポートです（一部、文意が変わらない範囲で文言を訂正した箇所があります）。

世界展開力強化事業（ASEAN）コーディネーター

寺井淳一記



会社紹介を聴くテスティンさん（左）とミヤツネイチウンさん（右）

## -京セラでの 1Day インターンシップの感想と勉強になったこと

テスティン

2020年1月30日、京セラの1Day インターンシップに参加しました。正直に言うと、以前は京セラが何の会社かよく分かりませんでした。しかし、今回のプログラムに参加したおかげで、京セラが何の会社か、そして今までどのような目標を持って進んでいたかなどが、ほぼ分かりました。そして、いろいろ学びました。

まず、「お客様第一主義」「今をつくり、未来をつくる」「つくりたい未来がある」などが京セラのモットーであるということが分かりました。お客様のため、未来のため、従業員の一人一人が作っている会社だと教えてもらいました。一人一人が一生懸命作っていた動機が世界のためか、利益のためか分からないが、目標はよりやさしい環境、社会、人間のためであったため、その原因を分かる必要はないと考えられます。未来がある限り京セラも未来と一緒にいるという目標で、全従業員の力を合わせて1959年から今まで進んできた京セラはすごいと思います。

そのように未来へ行くため、「人間として何が正しいか」という京セラフィロソフィやアメーバ経営が大きく関係すると考えられます。一人だけではなく、全員の力で豊かな世界のため、環境にやさしい製品、部品を作る方法はすごいと思います。今回の1Day インターンシップのプログラムでアメーバ経営を初めて知り、実際に経験してみたので、京セラが今までどのように進んできたか分かるようになりました。自分ひとりの考えだけではなく、チームの力を合わせて進むことを重視しているため、チームが前へ進むように自分ももっと頑張る、自分にできることを何でもやるというチームワークの気持ちが分かりました。人間のため人間関係を主にするというの一番いい方法だと思います。

そこで学んだことは失敗してもがっかりしないでやり直すことです。自分のせいで失敗しても、ほかのメンバーのせいで失敗しても、お互い責めずどう解決しようかを全員で考えるべきです。そこで、責任の言葉が現れ、失敗に責任を持ち、チームで責任を持つということで自分が成長します。したがって、アメーバ経営はお客様のため、チームのため、自分の成長のため、自分がやらなければならない気持ちを与えるすごい方法だと思います。一番大事なのは失敗してもチームのため諦めないことです。諦めずに元気よく頑張るとするのは、みんなの目標のために欠かせないものだと分かりました。

京セラの皆さま、どうもありがとうございました。

## -京セラでの 1Day インターンシップの感想と勉強になったこと

ミヤツネイチートウン

### 1. はじめに

1月30日に、東京外国語大学の4年生と ISEP の東南アジアからの留学生 2人で、担当の先生のもとで京セラ 1Day インターンシップに行きました。一日のインターンシップでは、会社紹介、会社からのメッセージ、ディスカッション、グループワーク、会社の人たちの仕事紹介と最後に会社の人たちと話をしました。京セラでの 1Day インターンシップについて、自分の感想と勉強になったことを述べていきます。

### 2. 感想

#### 2. 1 会社全体

インターンシップの最初の方に行った会社の紹介で、京セラを最初に設立した歴史を聞いて素晴らしいと思いました。最初は 20 人もいない数人で、テレビで使う KELCIMA というセラミック製造から始まり、現在は社会の役に立つ電気製品の製造とホテルのようなサービス営業も行っている大企業になったということに感動しました。自分の国、ミャンマーでも若者たちがこれから自分の分野に関する事で会社を作り、京セラのように素晴らしい会社を作れる人になれるように、国も自分のような若者たちも頑張るべきだと思いました。

#### 2. 2 社会の利益のため

私は京セラの会社からのメッセージを聞いて、京セラは社会の利益を優先しながら自分たちの利益を作る会社だと考えました。生活に役に立つ製品だけではなく環境のことまで考えて製品を作っているため、日本だけではなく、世界的な利益を作ろうとしていることがすごいと思いました。

#### 2. 3 外国と共に働くこと

京セラの会社は、日本だけではなく世界中にあるため外国と共に働いています。ミャンマーにも京セラの市場があります。自分の国だけに止まらず、もっとできるだけ自分たちの力を広げていくことに憧れました。

#### 2. 4 会社の基底を中心する

私が知っている限りのことでは、会社は（政治も同様に）上の方を中心に据えているように考えられるが、京セラではアメリカ組織のことを聞き、会社を支えている会社員たちを中心に据えているように見えました。多くの会社は上の方がもっと

大事にされ、会社のために働いている会社員は忘れられています。しかし、京セラは会社の成功が会社全体のメリットとなるという考え方で、私も自分の国、ミャンマーもそうなって欲しいと思いました。

### **3. 勉強になったこと**

京セラのインターンシップでは、自分の国ではできない体験ができたと思います。ディスカッションと会社の人たちとの話の中で、会社で働くことに関して教えてもらいました。京セラで働くためだけでなく、就職することに関する大事なことと先輩方の経験も教えてもらい、これからの自分の進路に役に立つ貴重な話でした。

#### **3. 1 グループワーク**

グループワークではアメーバ組織の働き方を教えてもらいました。それはただの利益をみるのではなく、どれだけの時間をかけて、どれだけの人数で、どれだけの利益が得られたかというコンセプトで働くことです。そして、実際に働き方をグループでやってみて、自分一人だけではなく、皆と働くということも勉強になりました。そして、問題が起きたとしても、冷静に働くことも大切だということも勉強になりました。

#### **3. 2 自分の力を広げる**

京セラの世界的産業を広めることから、自分もただ立ち止まっていたはいけないことが分かりました。自分が何かの分野で上手になったとしたら、そこで立ち止まらず、さらにレベルアップして、進めるべきだと分かりました。

### **4. まとめ**

京セラのインターンシップで、日本の会社のこと、日本の働き方、どうして日本は発展しているか、どんな風に努力をしてきたのか勉強になり、自分の国もそれを学んで、発展のためにどうするべきか、たくさん考えるようになりました。この体験を自分の国に帰ったら日本で働きたい人たちに伝えようと決意しました。

一年間の留学でも、このような貴重な体験をさせていただき、大学側にも京セラにも感謝の意を伝えたいと思います。ありがとうございました。



ワークシートを使ってペーパータワー制作の時間当たり採算を算出している様子

(左端がミヤツネイチタウンさん、その隣がテスステインさん)



京セラ・東京事務所前における記念撮影

## ⑤日本映像翻訳アカデミー（JVTA）ワークショップ実施報告（2020年7月）

本事業で受け入れている交換留学生に対し、希望職種に関するアンケートを実施したところ、翻訳に関する仕事に興味のある学生が複数名いたので、今回のワークショップを企画しました。ワークショップの実施は、本学の他の展開力事業で協力関係にある日本映像翻訳アカデミー（JVTA）に依頼しました。映像翻訳に関する講義や実習を含めて、計3日間実施しました。参加者はミャンマーの交換留学生4名でした。

### ・1日目

日時：7月20日（月）

実施時間：10時～11時50分

内容：自己紹介、JVTAの事業紹介、映像翻訳の実例や作業手順などの説明

### ・2日目

日時：7月27日（月）

実施時間：10時～11時50分

内容：映像翻訳の実習（日本語から英語、英語から日本語への翻訳）

### ・3日目

日時：7月29日（水）

実施時間：10時～12時10分

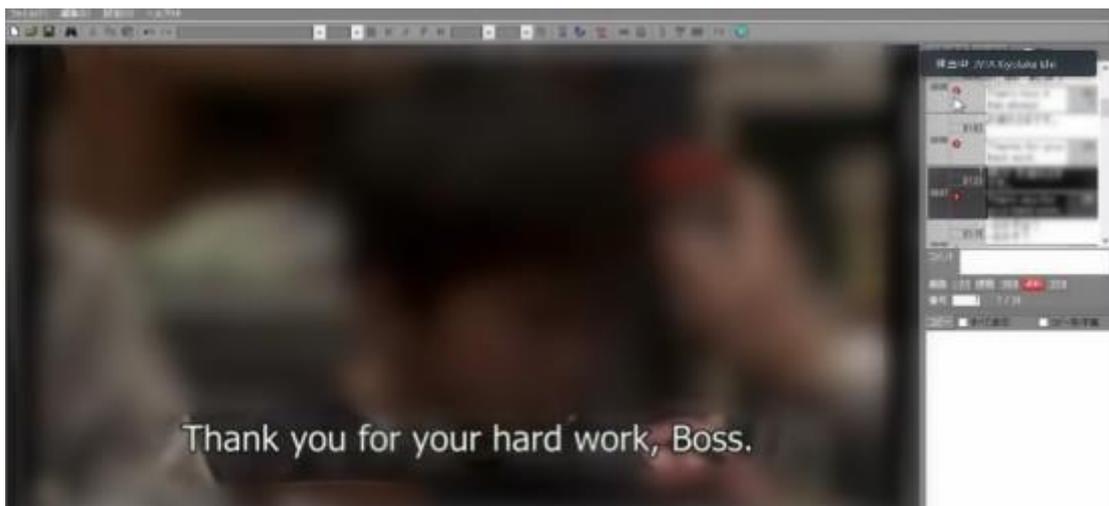
内容：映像翻訳の実習（英語からビルマ語への翻訳）、映像翻訳の仕事や就職について質疑応答

事前にJVTAの担当者より、参加者に対し会社について調べるように課題が出ており、1日目は自己紹介の後に、各自が調べた内容を発表しました。その後、担当者より会社紹介がなされ、映像翻訳の特徴や決まり事、留意点、作業手順などについて、実例を示しながら説明がありました。



説明をするJVTAの桜井さん

2日目は日本の人気ドラマの一場面に英語字幕を付けるという課題に取り組み、続いてアメリカのコメディドラマの一場面に日本語字幕を付ける練習を行いました。参加学生はZoomのブレイクアウトルームやチャット機能を活用して翻訳に取り組み、学生が提出した訳文をその場で映像に載せて見せてくれました。学生の訳文に対して講師から講評があり、場面やニュアンス、互いの文化的背景の違いに配慮した訳語選択の重要性などを学びました。



学生が提出した字幕を映像に載せて見せてくれている場面

3 日目には、日本の最新技術を海外に PR する映像に対し、参加者の母語であるビルマ語の字幕を付ける実習を行いました。学生は 2 つのグループに分かれ、それぞれ作業シートを使って翻訳に取り組みました。シートには日本語と英語が記載されており、その隣の列に学生が考えたビルマ語を入力するようになっていました。30 分程度の作業時間の後、学生たちが考えた訳文を実際に映像に載せてみながら、JVTA のスタッフから講評や留意点などの説明がありました。特に、前回取り組んだドラマやアニメなどに付ける字幕との違い、映像の動きや美しさよりは説明に重点が置かれた映像であるため、字幕が多少長くても構わない点などの捕捉説明がありました。そして、JVTA が完成版として付けた字幕を見て、学生自身が考えた字幕との違いを確認しました。完成版を見た学生からは、自分たちが考えた字幕より表現が堅い印象を受けたなどの感想が聞かれました。

その後、この案件を担当された方に入ってください、仕事の詳細について話していただきました。最後に学生との質疑応答の時間が設けられ、多言語対応の際の留意点などについて回答していただきました。

No.	開始時刻	終了時刻	原文	訳文
1	00:00:06.13	00:00:08.19	...	...
2	00:00:08.20	00:00:14.07	...	...
3	00:00:14.08	00:00:16.13	...	...
4	00:00:18.14	00:00:20.10	...	...
5	00:00:20.06	00:00:22.07	...	...
6	00:00:22.08	00:00:25.11	...	...
7	00:00:25.12	00:00:28.10	...	...
8	00:00:28.20	00:00:30.27	...	...
9	00:00:35.21	00:00:40.14	...	...
10	00:00:40.15	00:00:43.03	...	...
11	00:00:43.04	00:00:47.14	...	...
12	00:00:47.15	00:00:50.29	...	...

翻訳の際に使用した作業シート

参加した留学生のアンケート結果（抜粋）は以下の通りです（一部、英語から翻訳したものや文意が変わらない範囲で文言を訂正した箇所があります）。

○このワークショップでおもしろいと思ったことは何ですか？

- 実際に翻訳してみることに。
- 翻訳者が従うべきルールや多言語間でより良い翻訳のために翻訳者がどのように調整を行っているか知ることが出来たこと。
- 日本語の映像を日本語からビルマ語に翻訳したこと。

○このワークショップで難しいと感じたことは何ですか？

- 異なる言語間で適切な単語を見つけること。
- 本来の意味と近い適切な訳語を短時間で考えること。
- 英語から日本語への翻訳。女優が英語で言っていることは理解できましたが、日本語に翻訳する際、どの単語を使えばいいのか分かりませんでした。

○日本語から英語、英語から日本語、日本語/英語からビルマ語、どの翻訳が難しかったですか？

- 日本語から英語。英語が苦手な日本語もきちんと理解していないと難しいです。
- 全ての翻訳が難しかったです。このワークショップで翻訳の仕事が簡単ではないことが分かりました。翻訳は多くの異なる言語間で行うものです。言語が異なるので、より良い翻訳のために適切な単語を見つけるのが難しいです。私はビルマ語を話しますが、ビルマ語に翻訳するのも難しかったです。なので、翻訳に国籍は関係なく、才能が重要だと感じました。

○ワークショップの感想や意見を書いてください。

- いろいろ勉強になったので良かったです。
- 日本の翻訳の業界のことを紹介するのは良い取り組みだと思います。
- このワークショップは素晴らしかったです。翻訳に対する私の考えは、ワークショップ後に完全に変わりました。
- 私は翻訳に関する多くの知識と経験を得ることができました。私にとって、今回が初めての翻訳体験であり、とても満足しています。

○ワークショップの良かったこと、印象に残っていることなどを書いてください。

- その場で翻訳して、リアルタイムでその訳文を映像に載せるのは、素晴らしいと思いました。
- このワークショップで気に入っていることは、JVTA の方々が私たちに自身のアカデミーについて調べさせ、それを提示させる機会をくれたことです。そうすることで、ワークショップを始める前に、アカデミーについてよく知ることが出来ます。私は実習前の事前準備が大事であり、事前に知っておくことが本当に良いと考えます。
- このワークショップに参加してから、翻訳の仕方が頭に浮かび、翻訳に情熱を注ぐようになりました。もし機会があれば、もっと多くの映像を翻訳して、将来は翻訳者として働きたいです。

○ワークショップの改善点を書いてください。

- 時間が少し長いです。
- 翻訳する時間がもっと欲しいです。事前に翻訳に取り組むことができれば、ワークショップ当日に、どの部分が良く、どの部分に改善の必要があるかなどについて話し合うことができます。しかし、ワークショップ中の翻訳も悪くはありません。翻訳について考えるのに余計な時間をかけなくて済むからです。
- 特にありません。この期間中、私たちはどこにも行けず、外で活動することが出来ませんでした。しかし、私たちはこのワークショップに参加する機会を得て、多くの経験をする事が出来ました。

コロナ禍により学外で学ぶ機会がほとんどなかった留学生たちにとって、今回のワークショップは貴重な経験になり、学ぶことも多かったようです。すでに個人的に映像翻訳をしたことがある学生もいましたが、今回のワークショップを経て、翻訳について改めて考え、新たな発見をした学生もいたようです。このワークショップが学生の将来に役立つことを願っています。最後になりましたが、今回の企画に快くご協力くださった日本映像翻訳アカデミー（JVTA）の皆さまに、心より深く御礼申し上げます。



ワークショップ最終日の記念撮影

世界展開力強化事業（ASEAN）コーディネーター

寺井淳一記

（本事業の事務補佐員による原稿を基に作成しました）